

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	学校法人藤田学園
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	愛知県豊明市杓掛町田楽ヶ窪1番地98
工場等の名称	藤田医科大学ばんだね病院
工場等の所在地	名古屋市中川区尾頭橋三丁目6番10号
業種	医療、福祉
業務部門における 建築物の主たる用途	病院・医療関連施設
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	総合病院
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和6年7月1日 ～ 令和6年9月29日		
公表方法	○	掲示 閲覧	（場所） 総合案内
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先			

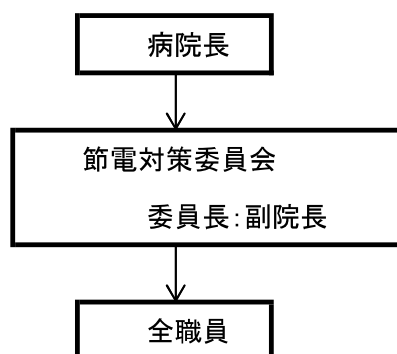
3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

当病院は地球温暖化対策をはじめとする地球環境保全の重要性を認識し、事業活動のあらゆる分野を通じて、持続的発展が可能な社会の実現に貢献します。

1. 環境施策の継続的な改善を図ります。
2. 省資源・省エネルギー活動の推進をします。
3. 廃棄物の発生抑制、リサイクルの推進をします。
4. 職員への環境教育をすすめ、外部に対しては環境情報の公開を進めます。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,852	t-CO ₂
（温室効果ガス除く炭素換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	2,852	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）				%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
原単位あたりの排出量	0.1016	t-CO ₂ / m ²	0.09855	t-CO ₂ / m ²	0.1105	t-CO ₂ / m ²	0.1095	t-CO ₂ / m ²
削減率（対 基準年度）			3.0	%	▲ 8.8	%	▲ 7.8	%
原単位あたりのみなし排出量						t-CO ₂ / m ²		t-CO ₂ / m ²
削減率（対 基準年度）						%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

【非達成の理由】
・新A棟建設完成に伴い、手術室、透析室増室に伴う新設設備（パッケージエアコン各所、モジュールチラー1台、貫流ボイラー2台）稼働によるエネルギー増加の影響が大きいと考える。
【次年度以降の活動】
・運用状況を把握、明確化し、適正なエネルギー消費への見直しを行う。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の行動の実践・冷暖房	・ 冷房 26℃、暖房 20℃を徹底する。 ・ 空調機器を順次省エネ型に切り換える。		院内ラウンドによる冷暖房のチェックを行い、左記温度の設定を実施。
省エネルギー・省資源の行動の実践・照明	・ 使用していない部屋や昼休み・時間外の消灯を徹底する。 ・ 改修工事時に伴う照明設備は省エネを考慮したうえで設計する。		院内ラウンドによる管理体制のチェックを行った。廊下、事務所の照明を間引きを実施。
省エネルギー・省資源の行動の実践・OA機器	・ パソコンを90分以上操作しない時や退社時の電源オフを徹底する。 ・ コピー機を使用後は待機状態とし退社時の電源オフを徹底する。 ・ パソコンモニターはLEDとする		パソコンの長時間操作しない時や退社時の電源オフ徹底を実施。
廃棄物の排出抑制	・ 両面コピー、裏紙利用により用紙の削減をはかる ・ オフィス古紙を分別回収し、リサイクルする		学園内部の一部通知書類を廃止し、メールでのデータ送信に切り替えたことに伴う、用紙使用量の削減を実施。
省エネルギー・省資源の行動の実践・コンセント機器	・ 夏季の暖房便座切り ・ 不使用なコンセント機器はコンセントから抜く		節電対策委員会により、夏季の暖房便座切、洗面混合水栓（お湯側）の切を実施。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

・病院の全体空調である冷温水発生機のスケジュール見直しによる運転時間調整 ・給湯ポンプの運転時間調整
--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

野外広告灯の点灯OFF実施
